

写真
募集中!

わが家の愛ドル ～11月生まれ～

申込みは
こちら▶



高本 望生ちゃん (4歳)



望生4歳お誕生日おめでとう!これからも沢山楽しい思い出作っていきましょうね♪可愛い笑顔に毎日癒されてるよ♡

間宮 絃葉ちゃん (2歳)



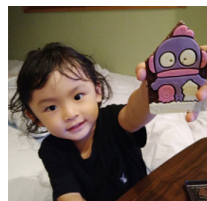
いとちゃんお誕生日おめでとう!2歳も元気に保育園頑張ろうね!

北本 流空渚ちゃん (1歳)



るあちゃん。すくすく大きく育ってくれてありがとう♡

松村 旺迦ちゃん (4歳)



4歳お誕生日おめでとう☆これからも色々な事があるけど、滅気ずに頑張るおうちゃんいてね!大好きよー

大橋 美蓮ちゃん (1歳)



1歳のお誕生日おめでとう!いつもミレンの笑顔でみんなもスマイルに。Merci!!

森下 莉璃ちゃん (5歳)



りりちゃん、5歳の誕生日おめでとう!いつも元気いっぱいりのりちゃん!これからも楽しく過ごそうね

尾花 環ちゃん (4歳) 紬ちゃん (6歳)



つむぎちゃん、めぐりちゃん、ハッピーバースデー!うまれてきてくれてありがとう。ずっとあいしているよ。

窪田 柚乃ちゃん (2歳)



ゆのちゃん2歳のお誕生日おめでとう。これからも上手なお歌いっぱい聞かせてね♪

就学前の12月生まれのお子さんの写真を募集します [抽選]。
11月10日(金)までに上記二次元コードからお申し込みください。
☎ 企画広報課 広聴広報係
☎ 0739 (26) 9963
🌐 <https://www.city.tanabe.lg.jp/kouhou/wagayanoidol.html>

たなべスマイル



寒川 淑子 さん

龍神村西

父の思い、私の思い

龍神の旅館で女将をしています。父は旅館を創業し、評判のいい料理人でした。子どもの頃は、父の作ったきれいなお弁当を周りのみんなが「すごい!」と言って囲むので、なかなか食べられないほどでした。父はいつか徴兵に備え、母と長女の私に旅館を託すためとても厳しかったのを覚えています。母に続いて私も女将となり、60年以上が経ちます。

今では女将業が趣味というほど楽しんでます。心をこめて様々な手作りのものをお出ししていますが、そのひとつに畑でとれた野菜のお漬物があります。漬け樽に「おいしいものが出来上がりますように」と願いを書いて漬けています。料理に季節を味わえるしば漬けなど数種類を添えており、「いつもより御飯をいっぱい食べた」と言ってくださったり、それを楽しみに宿泊してくれる方もいらっしゃいます。

小さな旅館ですが、あと4年で創業100年になります。父と支えてくれた人々、スタッフ、大勢のお客様のおかげでここまでこれました。自信を持ってお客様をお迎えできるよう、まだまだこれからも新たな挑戦をしていきたいと思えます。



青春キラリ! 高校生レポーター

SDGs を考えて

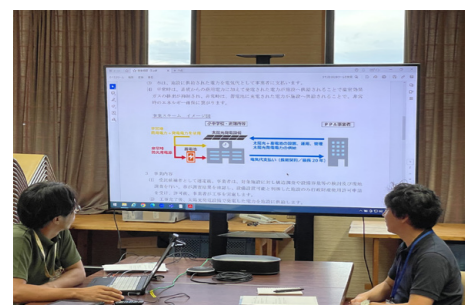


何ができるでしょうか

写真・文 田辺高等学校 大木 彩加

今回、市有施設への太陽光設備の設置に携わっている田辺市役所環境課の岡本さん、防災まちづくり課の細尾さん取材させていただきました。皆さんは田辺市の避難所とされている様々な施設に今年から来年にかけて太陽光発電と蓄電池が設置されることをご存じでしょうか。設置場所の例として田辺スポーツパークがあります。パネルを施設の屋根に設置し、エネルギーを蓄電します。蓄電されたエネルギーは災害時に使用することができ、なんと災害時に家庭で使える電力量の4~5日間分の蓄電ができるそうです。

岡本さんは「生活する上でエネルギーは必要なので二酸化炭素が排出されるのは仕方がないが、それで終わらせるのではなく、生活の中でみんながちょっとずつ脱炭素社会に向けて、取り組むことが大事」だとおっしゃっていました。今、私たちは未来のために何ができるでしょうか。



第22回

ミナラのキラキラ たなべ日記

～ The road from Karabakh to Tanabe ～
カラバフから田辺までの道

アゼルバイジャン生まれ
カナダから来ました
ミナラ・シュキュロワです♪



小学生の時、日本を含めたいろんな国の紹介を聞き、いつか世界で一番難しくて珍しい言葉を学んで、その国に行きたいという夢を持ちました。その後、アゼルバイジャンの私立大学で日本語を専攻し、これまでに5回来日して、その夢を叶えました。

田辺市の国際交流員に任命されてもうすぐ2年が経ちます。田辺市の皆さんにはカナダとアゼルバイジャンの文化や歴史などを紹介し、市外の皆さんには田辺市の魅力をPRしています。

9月には、東京にある駐日アゼルバイジャン大使館を訪れて大使と面会し、昨年30周年を迎えた両国関係の歴史や、両国をつなぐ将来構想について意見を交換しました。

日本(田辺市)とアゼルバイジャンのさらなる交流を促進することが、今私が抱えている夢です。住んでいる田辺市と出身地であるアゼルバイジャンのカラバフに、それぞれの国の特徴を持った「Evi(家)」を建築して、お互いの文化を紹介できればと考えています。



下写真(右から)ロブシャン・ジャファロフ氏(駐日アゼルバイジャン大使館のカウンセラー)、セビンジ・ジャファロワ氏(カウンセラーの妻)、ミナラ、ギュルセル・イスマイルザデー氏(同大使館大使)、ミナラの子もたち